

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪市立 晴明丘小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒 545-0032
阿倍野区晴明通 10-38
 E-mail : e1961105a@ocec.jp
 Website : http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e711604
 児童生徒数：男子 352 名 女子 328 名 合計 680 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

全学年の取り組み

開発教育 児童朝会の校長講話で、ユネスコの歴史についてふれたり、世界寺子屋運動への支援を呼びかけたりした。

人権教育 道徳の授業においてはにんげん実践を中心に男女平等教育にも力を注いだ。また各学年ソーシャルスキルトレーニングなどを取り入れた教育も行っている。さらに、本校では体育を研究教科にしていたが、この研究をするにあたってUD教育の視点も取り入れた。UD教育の視点は端的に言うところ、全ての児童が楽しく取り組めるにはどうしたらよいかという視点を大切にすることである。

課外の活動として不登校児童への積極的な取り組みや、UDの視点を生かした特別支援教育。また、民族音楽会や東南ハギモイムにも参加した。

福祉教育 学級活動の時間を使って、栄養教諭による食育の授業を行った。他には、赤い羽根募金の活動にも取り組んだ。

多文化共生教育 シカゴから教育使節団が来校し、日本の歌やアメリカの歌を披露した。また、昨年度、同じユネスコスクールの住吉高校と連携を取り、韓国・中国の高校生との交流を行った。

パソコンクラブで「わたしのまちのたからもの」と題して、あべのハルカスで発表も行った。他には、世界寺子屋運動への支援も行った。

防災教育 全学年で行う地震や津波、火災などの避難訓練をおこなった。

各学年の取り組み

1年の生活科では、多文化共生教育として「伝承遊び」や「地域のご老人との交流」を行った。

2年生では、人権教育として、乳児を抱えたお母さんや妊婦の方に実際に来ていただき「いのち」に関する学習を行った。また、多文化共生教育として生活科で、中国のゲストティーチャーを招いてお茶の入れ方を学んだ。

